

放射線防護食品エビデンスレポート

No041

1. 文献名

Smirnova II, Filatova EI, Suvorov AN, Bylinskaia EN. The use of therapeutic/prophylactic dragee "honey laminolact" in radiotherapy of uterine tumors". Vopr Onkol. 2000; 46(6): 748-50.

2. 目的

子宮腫瘍の放射線治療における糖衣錠"Honey-laminolact"の治療/防護目的での利用について検証する。

3. データソース

PubMed

4. 研究の選択

子宮腫瘍により放射線治療を受けた44人の患者に対してHoney-laminolactを与えて、放射線による影響を評価した。

対象	ヒト
投与方法	経口投与
投与のタイミング	照射前
投与物質	Honey-laminolact

5. データ抽出

臨床的に子宮腫瘍患者から得られたデータに基づく検証。

6. 主な結果

小骨盤に放射線照射した際の腸管の放射線への応答は低いものであった。

7. 結論

ハニーラミノラクトの投与により、放射線誘発性の腸病変の著しい減少が示され、放射線防護に向けた利用が示唆される。

簡易な要約(plain language summary)

子宮腫瘍の放射線治療における糖衣錠"Honey-laminolact"の治療/防護での利用

新規開発食品"ハニーラミノラクト"の効果を検証する。ハニーラミノラクトは生きた乳酸菌、アミノ酸、微量元素、植物ペクチン、免疫調節物質を含んでいる。子宮腫瘍に対して放射線治療を受けた44人の患者における放射線への応答程度に関して検証した。小骨盤に照射した際の腸管の放射線への応答は低いものであったことから、ハニーラミノラクトの投与により、放射線誘発性の腸病変の著しい減少が示され、放射線防護に向けた利用が示唆される。

8. 安全性評価か有効性評価か

有効性評価が述べられている。

9. 論文中有害事象・副作用の記載

副作用は報告されていない。

10. カテゴリーの規格基準に関連する事項や図表

記載なし

11. キーワード

Radiation, Honey-laminolact, tumor, pelvic, uterine

12. 関連する食品認証と用途

認証食品ではない

13. 備考